

			その他の疾患: 変形性関節症、骨軟化症
		アレルギー・免疫疾患	アナフィラキシーショック 自己免疫疾患(全身性エリテマトーデス、ベーチェット病、シェーグレン症候群、抗リン脂質抗体症候群) 後天性免疫不全症
		移植医療	臓器移植・造血幹細胞移植 その他の疾患: 移植片対宿主病(GVHD)
		緩和ケアと長期療養	癌性疼痛 長期療養に付随する合併症
	病原微生物・悪性新生物	感染症	ウイルス感染症(インフルエンザ、ヘルペスウイルス感染症、サイトメガロウイルス感染症、ウイルス性脳炎・髄膜炎、ウイルス肝炎、HIVなど) 細菌感染症(結核、溶血結性レンサ球菌、ブドウ球菌、レジオネラ菌など) 真菌感染症(カンジダ症、白癬菌症、アスペルギルス症など) その他の感染症(リケッチア感染症、クラミジア感染症、寄生虫感染症など)
		悪性腫瘍の病態と治療	悪性腫瘍の薬物治療 化学療法 代表的疾患: 白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫、食道癌、胃癌、大腸癌、肝臓癌、すい臓癌、前立腺癌、子宮癌、肺癌、乳癌、褐色細胞腫、脳腫瘍
薬物治療に役立つ情報	医薬品情報	情報	医薬品情報 医薬品情報に関わっている職種 開発過程で得られる情報 市販後情報 法律と制度
		情報源	一次資料、二次資料、三次資料 厚生労働省、製薬企業などの発行する資料 医薬品添付文書 医薬品インタビューフォーム
		収集・評価・加工・提供・管理	医薬品情報を質的に評価する際に必要な基本的項目
		データベース	データベース
		生物統計の基礎	帰無仮説の概念 パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の使い分け 主な多重比較検定法(分散分析、Dunnnett検定、Tukey検定など) 主な多変量解析の概要
		EBM(Evidence-Based Medicine)	EBM ランダム化比較試験、コホート研究、症例対照研究 メタアナリシスの概念、結果の評価 エンドポイント オッズ比、必要治療数、相対危険度
	患者情報	情報と情報源	薬物治療に必要な患者基本情報

		患者情報源
	収集・評価・管理	問題志向型システム(POS)
		SOAP
テーラーメイド薬物治療	薬効の個人差	薬効の個人差の要因
	遺伝的素因	遺伝的素因
	年齢的要因	新生児、乳児
		幼児、小児
		高齢者
	生理的要因	妊婦時
		授乳婦
		栄養状態
	合併症	腎臓疾患
		肝臓疾患
		心臓疾患
	投与計画	患者固有の投与計画
		ポピュレーションファーマコキネティクス
日内変動		
治療	疾患関連遺伝子と遺伝子治療	
	細胞を利用した治療	

【別表Ⅵ 法規・制度・倫理】

大項目	中項目	小項目	小項目の例示
薬学と社会	薬剤師を取り巻く法律と制度	医療の担い手としての使命	倫理的責任 民事責任、刑事責任、行政責任 インフォームド・コンセントの定義、必要性 個人情報の保護
		法令の構成	薬剤師に関連する法令の構成
		薬事法	薬局 医薬品等の製造販売業及び製造業 登録認証機関 医薬品の販売業及び医療機器の販売業等 医薬品等の基準及び検定 医薬品等(毒薬および劇薬、医薬品、医療機器、化粧品、医薬部外品)の取扱い 医薬品等の広告 生物由来製剤の特例 監督 指定薬物の取扱い 希少疾病用医薬品及び希少疾病用医療機器の指定等 雑則 罰則
		薬剤師法	薬剤師の任務 薬剤師免許 薬剤師国家試験 業務 罰則
		医療法	医療法の目的 医療に関する選択の支援等 医療の安全の確保 病院、診療所及び助産所 医療提供体制の確保 罰則
		医師法、歯科医師法、保健師助産師看護師法	医師・歯科医師の任務、保健師助産師看護師法の目的 業務
		血液供給体制	採血、献血、血液製剤

	管理薬に関する規制	麻薬 向精神薬 覚せい剤 覚せい剤原料 大麻 あへん		
	毒物および劇物に関する規制	毒物 劇物		
薬害と副作用被害	健康被害救済制度	医薬品副作用救済制度 生物由来製品感染等被害救済業務		
	薬害	薬害(サリドマイド、スモン、血液製剤、ソリブジンなど)の原因と社会的背景 薬害を防止するための手段		
	製造物責任	薬剤師が関わる製造物責任の概要		
社会保障制度と薬剤経済	社会保障制度	日本における社会保障制度のしくみ 社会保障制度の中での医療保険制度の役割 介護保険制度のしくみ 高齢者医療制度のしくみ		
		医療保険制度	医療保険の成り立ちと現状 医療保険のしくみ 医療保険の種類 国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点 保険薬剤師療養担当規則、保険医療養担当規則 調剤報酬および調剤報酬明細書(レセプト) 保険医療と薬価制度の関係 新規医薬品の価格を決定する要因	
			薬剤経済・医療統計	国民医療費の動向 医療費の内訳 ジェネリック医薬品の役割 医薬品生産金額 医療従事者数 医療施設数、薬局数 薬物治療の経済評価の意義、評価手法
				地域薬局

			薬局業務運営ガイドライン	
		医薬分業	医薬分業のしくみと意義 医薬分業の現状 かかりつけ薬局の意義	
		医薬品流通	医薬品の流通のしくみ	
医薬品の開発と生産	医薬品開発	医薬品開発のコンセプト	医薬品開発を計画する際に考慮すべき因子 希少疾病に対する医薬品(オーファンドラッグ)開発の重要性	
		医薬品の承認	医薬品の承認までのプロセス 非臨床試験の目的と実施概要 臨床試験の目的と実施概要 後発医薬品	
		承認後の制度	再審査制度 再評価制度 副作用・感染症報告制度 市販直後調査	
		医薬品の製造と品質管理	医薬品の品質管理の意義と薬剤師の役割 医薬品製造における環境保全に配慮すべき点	
		規範	GLP(Good Laboratory Practice) GCP(Good Clinical Practice) GMP(Good Manufacturing Practice) GVP(Good Vigilance Practice) GQP(Good Quality Practice) GPSP(Good Post-Marketing Study Practice)	
		治験	治験の意義と業務	治験の意義 治験(第Ⅰ、ⅡおよびⅢ相)の概要 治験審査委員会
			治験における薬剤師の役割	治験における薬剤師の役割(治験薬管理者、治験コーディネーターなど) インフォームド・コンセントと守秘義務
	ヒューマニズム	生と死(生命倫理)	生命の尊厳	誕生に関わる倫理的問題(生殖技術、クローン技術、出生前診断など)の概略 医療に関わる倫理的問題の概略 死に関わる倫理的問題(安楽死、尊厳死、脳死など)の概略
			医療の目的	予防、治療、延命、QOL
			先進医療と生命倫理	遺伝子診断、遺伝子治療、移植・再生医療、難病治療
		医療の担い手としてのこころ構え	社会の期待	患者中心(本位)の医療 医療の担い手としての社会のニーズ 医療の担い手としての社会のニーズに対応する方法

		医療の担い手にふさわしい態度
	医療行為	ヘルシンキ宣言 医療の担い手が守るべき倫理規範 インフォームド・コンセントの定義と必要性 患者の基本的権利と自己決定権の尊重 医療事故回避の重要性
	研究活動	研究の必要性、独創性 臨床研究に関する倫理指針、疫学研究に関する倫理指針、動物愛護と代替試験法
	医薬品の創製と供給	医薬品の創製と供給が社会に及ぼす影響 医薬品の使用に関わる事故回避の重要性
	自己学習・生涯学習	課題抽出能力・解決能力 医療の担い手としての生涯学習
対人業務	コミュニケーション	言語的・非言語的コミュニケーションの方法 意思、情報の伝達に必要な要素 相手の立場、文化、習慣などによるコミュニケーションのあり方の違い
	相手への配慮	対人関係に影響を及ぼす心理的要因 病気が患者に及ぼす心理的影響、患者心理の理解
	チームワーク	チームワークの重要性